

2018年4月11日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

～企業として地震などの災害に備え、お客様に安心・安全なサービス提供を～
災害発生時の事業継続に対する取り組みが評価され
「レジリエンス認証」を取得

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀克英）は、災害などが発生した際の事業継続（Business Continuity）に関する取り組みが評価され、「国土強靱化貢献団体認証（レジリエンス認証^{※1}）」を取得しましたのでお知らせいたします。

地震をはじめとする災害が多い日本において、災害発生時に迅速に回復できる社会システムを構築することを目的に、「レジリエンス認証」の制度が2016年に創設されました。

※1：内閣官房国土強靱化推進室が2016年2月に制定した「国土強靱化貢献団体の認証に関するガイドライン」に基づき、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会が事業継続に関する取り組みを積極的に行う事業者を認証するもの。



・総合不動産管理会社としての事業継続に対する責任

当社はマンション約52万戸、ビル・施設約1,100件を管理運営する総合不動産管理会社です。災害発生時には迅速に当社の事業基盤を復旧させ、お客様の大切な資産であるマンションやビルの復旧に努めることが使命であるため、災害時の事業継続は重要課題だと考えています。今回、当社で推進している下記の取り組みが評価され、レジリエンス認証を取得するに至りました。

<当社の事業継続向上に向けた取り組み（一例）>

①事業継続に係る方針や対策の策定

事業継続に係る方針や管理方法について規程化し、運用体制を構築。

②事業継続計画の定期的な見直し体制の構築

各管轄部門にて、事業継続に向けた活動を課題化し、継続的に見直し・改善できる仕組みを構築。その内容を統括部門にて集約・管理。

③社員教育・訓練の継続的な実施

当社単独の訓練に加え、東急不動産ホールディングス合同での震災対応訓練を実施。また、全社員を対象に防災の専門家を招いた研修も開催。

今後も、事業継続に関する取り組みを積極的に推進し、お客様への安心・安全なサービスのご提供を目指してまいります。